

大阪大学経営協議会（平成２７年度 第４回）議事要旨

日 時 平成２８年３月２３日（水）１０時００分～１２時０２分

場 所 大阪大学中之島センター １０階佐治敬三メモリアルホール

出席者 西尾総長（議長）

相澤、岡本、尾崎、川島、小林、佐藤、鈴木、角、手代木、友野、南部、野路、
渡辺、三成、小林、八木、小川、星野、吉川、工藤、鬼澤、竹中、河原、澤、有川、
金倉 各委員

欠席者 井上、上山 各委員

議事に先立ち、西尾議長より会議開催に必要な定足数を満たしている旨の報告及び新任の
学内委員の紹介があった。また、前回（１１月１９日開催）の議事要旨については、既に各
委員に照会し、内容を確定して本学ホームページに公表済みである旨の報告があった。

続いて、先般記者発表を行った本学における不正経理について説明があった。

その後、本学に係る研究大学強化促進事業フォローアップ結果及び博士課程教育リーディ
ングプログラム中間評価について報告があった。

議 事

【議事】

１ 理事の任命について

西尾議長から、配付資料に基づき、平成２８年１月１日付で理事１名を任命したこと
について報告があった。

２ 総長参与及び総長特命補佐の指名について

西尾議長から、配付資料に基づき、任期満了に伴う総長参与及び総長特命補佐の後任を
指名したことについて報告があった。

３ 第３期中期計画案について

三成委員から、配付資料に基づき、第３期中期計画案について説明があり、審議の結果、
これを承認した。

４ 平成２８年度大阪大学年度計画（案）について

三成委員から、平成２８年度の年度計画を策定することについて説明があり、審議の結
果、これを承認した。

５ 平成２８年度政府予算案の伝達について

三成委員から、配付資料に基づき、平成28年度の政府予算案の伝達について報告があった。

6 平成28年度当初予算（案）について

小川委員から、配付資料に基づき、本学の予算編成方針案、平成28年度予算配分基本方針案、平成28年度収入支出予算案等について説明があり、審議の結果、これを承認した。

7 箕面新キャンパス移転計画について

三成委員から、配付資料に基づき、箕面キャンパスの移転に係る箕面市との合意書案について説明があり、審議の結果、これを承認した。

8 中之島地区について

西尾議長から、中之島地区の将来構想に係る検討の経過について報告があった。

9 理事の報酬額について

西尾議長から、新たに就任した理事の報酬額について説明があり、審議の結果、これを承認した。

10 役員退職手当に係る業績勘案率について

西尾議長から、平成28年3月31日付で任期満了となる役員の退職手当の算定時に総合的に勘案する業績勘案率について説明があり、審議の結果、これを承認した。

11 教職員の給与等について

鬼澤委員から、配付資料に基づき、地域手当の支給対象地域の見直し及び事務組織の整備に伴う管理職の範囲等の見直しについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

12 経営協議会規程の一部改正について

西尾議長から、配付資料に基づき、経営協議会規程について、本協議会に出席いただいた各学外委員から意見をいただく十分な時間を確保するため、学外委員を1名減じることに伴い、学内委員についても1名減じる改正を行った旨の報告があった。

13 前回のご意見に対する取組状況について

工藤委員から、配付資料に基づき、前回の本協議会で学外委員からいただいた意見や助言に対する取組状況について報告があった。

14 OU (Osaka University) ビジョン 2021 について

西尾議長から、任期となる6年間及び第3期中期目標期間を通じた大学運営に係る方向性を示す、OU (Osaka University) ビジョン 2021 の策定について報告があった。

【意見交換】

1 大阪大学への提言

策定した OU ビジョン 2021 及び今後の本学に期待すること等について各委員から以下のような意見があった。

- ・文化や教育は経営基盤がしっかりしていないとうまくいかない。財政基盤の充実を図ることは重要である。
- ・人を引き付けるための関西の魅力について、関西全体で考えていかなければならない。関西は地理的にアジア方面に近く、有能な人材を獲得して、関西に根付いてもらう上で、大阪大学にはコアになっていただきたい。
- ・OUビジョン2021について、アクションを記載するには数値目標がほしい。せめていつ行っかのタイミングについて記載したほうがよい。
- ・適塾の精神は「人のため、世のため、道のため」であり、この精神を根本理念としてOUビジョン2021に活かすべきである。また、その精神とともに、常に危機感を広く構成員が共有していくべきであろう。
- ・一番の課題はポスドクの問題であり、博士課程に進む人が減っていることである。研究員の高齢化が進んでいる現状があり、若い人達が先輩を見て元気が出る大学にしてほしい。
- ・どの国や都市に行っても中心部に大学がある。そのような意味でも大阪大学の中之島進出はぜひ進めていただきたい。また、大阪を活性化するためには、ものづくりの産業との連携を進めていってはどうか。
- ・OUビジョン2021について、それぞれのアクションが相乗的に進むように全体を俯瞰しながら進めることが重要ではないか。
- ・論文引用数で遅れをとっていることが課題ではないか。外国語学部がある強みを生かして世界に対する伝達能力を高めていくべきである。
- ・関西において、人が出て行ってしまうことへの危機感は強く、5年後、10年後に大学がこのまま同じような運営をしていて大丈夫なのか、存続しえるのか、このことを考えておく必要がある。このまま関西圏の人が減っていけば、京都や神戸の大学との連携も考えていくことになるのでは。
- ・ビジョンの実現のためにはもっと民間の手法を取り入れてはどうか。強みをどんどん伸ばして、進めていくことで発展していく。
- ・ビジョンを理念で終わらせずにきちっと具現化して欲しい。また、何が大阪大学らしさなのか、わかりやすい大阪大学のイメージを受験生や社会に伝えることを検討してほしい。

- ・アジアからの留学生を定着させるためには、どうしても背景に宗教の問題が出てくる。留学生が安心できるよう、その点に留意することが重要である。また、大学の研究成果が盗まれないようサイバーセキュリティの問題にも留意していく必要がある。
- ・懐徳堂と適塾の二つの理念が両輪となり大阪大学のバックボーンになっている。将来構想を考えていくうえでこの根幹の部分を忘れないでいただきたい。人を育てるのは100年の計と言われる。遠い将来を展望して改革に取り組んでほしい。

(以 上)